

中之島小中学校校旗購入御寄附のお礼

中之島小中学校 OB 会 御岳の会： 昭和 56 年中之島小学校卒業 安藤 基浩
発起人・実行委員長： 安藤 基浩
実行員協力： 小幡 操 （「帯刀」オーナー）
承認・実行委員： PTA 会長、中之島郵便局長（監査人）、中之島三地区区長

まずは、皆様の暖かい御志し、気持ちで校旗を新調する事ができました事をご報告致させていただきます。

私どもの運動をご理解頂き、早々と御寄附を、過分なる御厚意を頂戴致しました事に感謝致しております。また、過日は早々と御寄附を頂きまして、感謝の言葉もございません。

これで、50年という歴史を刻み傷んだ校旗の魂も、新たなる校旗へと引き継がれ、各儀式をはじめ、中之島大運動会でも先頭をきり、旗をたなびかせる事ができます。
また、皆様の早々なる御寄附のおかげさまをもちまして、新校旗にて今年度の卒業式も迎えることができました。

改めまして、皆様の温かい御志し、お気持ちに感謝申し上げます。

賛同頂き、御寄附をして下さった方々へは、また改めまして書状にてご報告させていただきます。末筆ながら、まずは、取り急ぎ、御礼申し上げます。

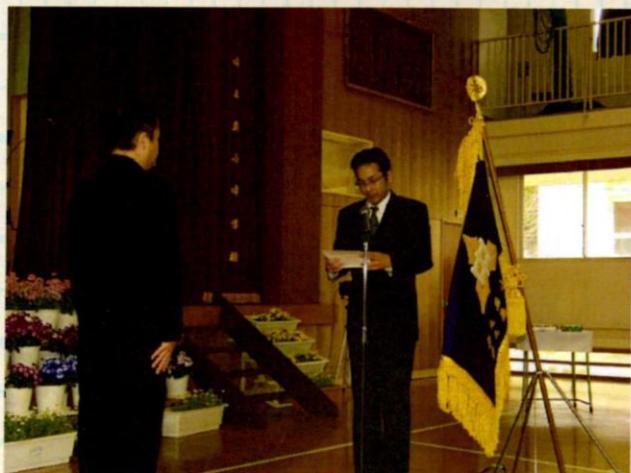






中之島小中学校に校旗が贈呈されました！

中之島小中学校の卒業式が行われた3月10日、卒業式の前に校旗の贈呈式が行われました。この校旗は177名の方々から頂いた寄附を元に作成されました。



▲贈呈の挨拶をする安藤基浩氏



▲池邊校長（左）と安藤氏（右）

校旗を贈呈していただいた安藤基浩さんよりコメントが届きました▼

昨年の運動会で、数十年ぶりに我が母校の校旗を見ました。そこには、約50年という長い歳月を経て、生地等かなり傷んだ校旗がひっそり立てかけられていました。それは、とても柵引かせながら歩ける様な状態ではなくとも見るに堪えない状態でした。そこで、これは新調できないかと、地域の方々、トカラふるさと会、中之島小中学校出身者、中之島出身者、多くの方々の協力のもと、寄附を募る事にしました。

まず、名簿集めから始め、傷んだ校旗の写真を載せた文章を作成し、島出身者の先輩方の集まる忘年会や同窓会等あれば顔を出し、話をさせて頂き、また300通を超える封書を作成し送付させて頂きました。

その想いは、とても嬉しく、とても有難い事に、多くの方々へ通じ、暖かい御志し、気持ちを頂き、多大な御寄附を募る事ができました。そうやって、産みだされました校旗には、愛校心、生まれ育った島への想い、そういう想いを持った方々の、多くの、いろんな想いが詰まっています。

今まで約50年という長い歳月、中之島小中学校を見続け、歴史と伝統を刻みこんできた今ある校旗の魂は、今回産みだされた校旗へ移りました。そして新たに産み出された校旗は、今まで同様、歴史と伝統を引き継ぎつつも、これをきっかけとし、新たなる歴史と伝統を刻み込んで、中之島小中学校を見続けていってくれる事と思います。

先生方、生徒の皆さん、PTAの方々へは、「中之島を誇れる生徒、中之島が誇れる生徒」の育成をして下さる事を願い、そして地域の方々へは、これをきっかけとして、地域活性の活力となり、中之島の益々の発展と繁栄になる事を祈りつつ、多くの方々のいろんな想いから立派な校旗ができた事を、有り難く想い、皆様へ感謝しつつ、贈呈させて頂きました。

最後に、昨年の10月から、構想を練り、今年の元日に皆様に送付させて頂いたのですが、皆様の早々の御志しのお陰で、今年度の卒業式に間に合いました。皆さんのお気持ちを伝え、しっかり校長へ手渡し致しました。

今年度の卒業式に間に合ったのも、早々に御寄附して下さいました皆さんのお陰です。島民の方々からも、特に今年巣立つ親御さんから、「ありがとう」という言葉を頂きました。この活動してほんとと良かったと心底実感できた時間でした。校旗を新調する機会に立ち会える事、新調する事は、先生達でさえ、なかなか無い機会です。あの場に立てた事は一生の思い出となりました。そして、御寄附して下さいました皆様も同様、生涯の思い出にして下さい。

この気持ちを御寄附して下さいました皆様へ、いかに伝えるか責任の重さも更に感じております。皆様へ心から感謝すると共に、皆様も自分の御寄附で産み出された校旗だという事を感じて頂ければと思います。